

行田市立忍小学校

音楽

単元名：「せんりつで よびかけあおう」



具体物の活用、掲示物の作成など、視覚的に理解を促す工夫が多数見られた。



考えたことをペアや全体で交流し合うなど、対話的な学びで考えを広げていた。

参会者アンケート等から

研究会のあり方・全体的な感想

【授業について】 ※一部文末等を編集しています。

○低学年の鑑賞ということで非常に難しい題材ではあったが、学習課題の追及、解決に向けた主体的・対話的な学習活動の取り組みを学ぶことができた。

○鑑賞の授業は、自分自身でも苦手意識をもってしまっているが、授業者自身が楽しんでいると、子どもたちもあんなに楽しそうに生き生きと活動できるのだと感じた。授業者の温かい雰囲気ですべてを包み込んでくれていて、子どもたちの小さな気づきも詳しく拾って、学びを深めていたのが印象的だった。1年生であそこまで音楽の知識や技術が身につけているのはすごいと思った。

○鑑賞を、音楽づくりの前に行ったのはよかった。様々な呼びかけと答えのかたちがあるということを知り、子供たちが考えを広げられたのは効果的なやり方だと思った。



【協議について】 ※一部文末等を編集しています。

○音楽の研究授業を見て学ぶ機会が少ない中、研修に参加でき、さらに素晴らしい授業を見せていただきとても勉強になった。

○参観のポイントがあったので、授業の参観がしやすかった。授業者の日頃の学級経営の素晴らしさも感じることができ、とても勉強になった。私も音楽で溢れる素敵な学級経営をしていきたいと改めて実感した。

○「よびかけとこたえ」の関係について、様々な手立てが提示されていて、一年生にも分かりやすい工夫がたくさん散りばめられており、勉強になった。そして何より授業者が、児童一人一人の言葉を丁寧に聞き取り、児童の気づきを大切にされているところが素敵で、温かい雰囲気の中で児童が安心して音楽を楽しめる環境づくりをしていくことが大事なのだと改めて学ぶことができた。

○とても素晴らしい授業を観せていただき、この研修会に参加して本当に良かった。授業だけでなく、協議の中で気づけることもたくさんあった。



『私の授業の観てほしいポイント』に沿った研究協議



各班の協議内容の発表
指導者からのご指導